

ゆずりは通信

(H27年6月)



●定例教育委員会での主な審議事項等（5月）

★第3回（H27.5.7）

- ・平成28年度兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験の実施
- ・第69回兵庫県民体育大会の開催及び総合開会式の実施
- ・関西マスタースポーツフェスティバル2015の開催

★第4回（H27.5.21）

- ・平成27年度兵庫県公立高等学校入学者選抜学力検査に関する実施結果報告
- ・南あわじ市における銅鐸の発見

※会議録及び会議資料は、教育委員会ホームページでご覧いただけます。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/iinkaikaigi/iinkaikaigi27.htm>

県教委TOPICS

●携帯電話事業者への携帯電話フィルタリング利用徹底要請（27.5.18）

近年のスマートフォンの急速な普及により、交流サイトを利用した青少年の性犯罪被害が増えている一方、インターネットの有害サイトへの接続を制限する「フィルタリング」利用は低迷したままです。フィルタリングは県条例で18歳未満への利用が義務付けられており、今後フィルタリング利用を促進するため、5月18日に教育次長などが携帯電話事業者を訪れました。保護者が購入の際には、フィルタリング利用の重要性について十分に説明してもらうよう要請しました。

※兵庫県青少年課・兵庫県警少年育成課・松蔭高校放送部が連携して作成したフィルタリングに関する動画は下記のURLからご覧いただけます。

<http://web.pref.hyogo.jp/kk16/firutariningudouga.html>

●県立但馬やまびこの郷

「タブレット PC を利用し、個別学習に取り組んでいます」

県立但馬やまびこの郷では、宿泊体験活動のプログラムにおいて、毎日 19:00 から約 30 分間学習の時間を設けています。漢字検定の問題集や教科書、自宅から持参したワークなど、それぞれの課題に取り組んでいます。昨年度、子どもたちの学習支援を充実させるため、算数・数学（小3～中3）と英語（中1～中3）の段階別プリントを作成しました。学校に行けない、授業に参加できないことで、つまずいている子どもが多いのですが、このプリントを活用することで、自分の学力に応じて課題に取り組み、これまで漠然ととらえていた子どもの学力をきめ細かに把握することができるようになりました。さらに平成 26 年度末、新たに 4 台のタブレット PC を導入し、この個別学習がより実施しやすくなり、今後はネット上の学習教材を活用したり、市販の学習ソフトを導入したりするなど、選択肢を増やし、個に応じた学習の一層の充実を図りたいと考えています。



タブレット PC を利用する様子

●県立学校が県庁の緑化等に取り組んでいます（H27. 5. 14）

5 月は、県立播磨農業高等学校園芸科草花デザインコース「チームガーデニング」の生徒による作品です。学校で育てたシンビジウム、オンシジウム、アナナス等の植物を使用し、「播磨の森」をイメージしています。また学校の果樹園で育てたベリー A の樹木を使った木人形が作品の中に隠れています。展示場所は県庁 2 号館と 3 号館の間の通路（議会棟 1 階）です。作品の展示は 5 月中でしたが、県立播磨農業高等学校の取り組みを紹介するパネルも展示しておりますので、ぜひお立ち寄りください。
※学校 PR 等はワンショットニュースをご覧ください。



<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/oneshot15/2705/index.htm>

●7 月 25 日（土）開催「ヴィッセル神戸 VS ガンバ大阪」にご招待！

「みる」スポーツ振興事業の企画提供として、兵庫県民を対象に Jリーグ・ヴィッセル神戸のホームゲーム観戦に抽選で親子 30 組を無料でご招待します。兵庫県の未来を担う子どもたちに、臨場感あるスタジアムで一流のプレーを見る機会を提供します。

募集対象：兵庫県在住の親子 30 組（1 組：大人 1 枚、小・中学生 1 枚）

申込期間：平成 27 年 6 月 5 日（金）～27 年 7 月 3 日（金）17:00 まで

申込方法：申込用紙に記入の上 FAX または持参 ※申込用紙は兵庫県立総合体育館にご用意しています。ホームページからもダウンロードできます。

※詳しくは下記のURLからご覧いただけます。

<http://www.hyogosoutai.com/128.html>

●兵庫県農水産高校による「第2回兵庫食農甲子園」が開催されました (H27. 5. 30)

兵庫県下の農林水産系の高校生たちによる、日頃の学習成果を広く県民の皆様に披露する「第2回兵庫食農甲子園」が神戸元町商店街で開かれました。県高等学校教育研究会農水産部会が元町商店街にぎわいづくり実行委員会と連携し、同商店街一帯において、県立12校の生徒ら約150人が実習で育てた農産物の販売や羊の毛刈りなどの実演を行いました。



※教育委員会ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/oneshot15/2705/index.htm>

●県立美術館特別展 舟越 桂 私の中のスフィンクス 展

舟越 桂は、日本を代表する具象彫刻家。大理石の玉眼を使った木彫半身像は、繊細な表情を据え、静謐で瞑想的な雰囲気を感じています。1990年代の半ば頃からヤヌスや双頭、山をダブル・イメージさせる体など、異形の姿が頻りに現れます。さらに、2004年の裸体像によって、顔に焦点が当たる従来の表現と、ボディを表現の核とする西洋的な規範の両方を統合する方向に進みはじめました。それを集約的に行ったのが、翌年からの<スフィンクス・シリーズ>です。本展覧会では、この流れをふまえて、<スフィンクス・シリーズ>をひとつの核とし、それ以前からの異形の流れを追い、さらに最新作も加えて、舟越が追求してきた造形の核心とその魅力に迫ります。会期 平成27年6月27日(土)~8月30日(日)
※詳しくは県立美術館のホームページからご覧いただけます。

http://www.artm.pref.hyogo.jp/exhibition/t_1506/index.html



教育委員からのメッセージ

「幼児教育の重要性」

高崎正弘教育委員長

この4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、認定こども園の所管窓口が内閣府に一本化されるなど、制度の整備が進められています。これを先取りするかたちで園の増設が進み、また、兵庫県は全国2番目に認定こども園が多いとの新聞報道も目にしましたが、これで満足するわけには参りません。ある脳科学者は、“幼児教育の臨界期”を唱え、「最適期に必要な生活習慣などを教えないと、それを後にカバーするには大変なエネルギーが要る」といった趣旨のことを述べています。仮説の域を出ないようですが、思い当たる節もあります。人口減少対策や女性の社会進出支援など、国家的テーマを底辺から支える施策として、社会を挙げての幼児教育のありようは如何にあるべきか。保護者、教育関係者、自治体がそれぞれの立場で考え、答えを出し、合意形成を図っていかねばならない重要なテーマだと思っています。ご支援をお願い申し上げます。



今後のイベント情報

★美術館・博物館等の催し案内

施設名	主な催しもの	期間
県立美術館	特別展 舟越桂 私の中的スフィンクス展	H27. 6. 27 (土) ~ H27. 8. 30 (日)
	県美プレミアム展 IN MY ROOM / ON THE ROAD ー私の部屋、あるいは路上にてー	H27. 3. 21 (土) ~ H27. 7. 5 (日)
県立歴史博物館	特別展 「美似 (ミニ) the NIPPONー海洋堂のミニチュアコレクションー」	H27. 4. 18 (土) ~ H27. 6. 14 (日)
県立考古博物館	特別展 「地震・噴火・洪水ー災害復興の3万年史ー」	H27. 4. 18 (土) ~ H27. 6. 21 (日)